

【東京ドイツ村・秋の新境地】総面積3.7ヘクタール、10万株超が織りなす「究極のレインボー花畑」が今秋誕生！

～初開催のハイブリッド植付け×計6,300㎡のコスモス畑、五感で味わう秋の絶景～

東京ドイツ村（所在地：千葉県袖ケ浦市・運営：明和興産株式会社）では、春のチューリップ、初夏のペチュニア・キンギョソウに続き、今秋、さらなる進化を遂げた「レインボー花畑」を展開いたします。

今年は初の試みとして、広大な「新農地」エリアに異なる2つのデザイン（直線ストライプ×湾曲する虹）を融合させたハイブリッドな花畑を創出。さらに、秋の代名詞であるコスモスが「ヨーロピアンガーデン（2,300㎡）」と「四季の丘（4,000㎡）」の計6,300㎡にわたって咲き誇ります。これらを含め、園内全体で総面積約37,300㎡（約3.7ヘクタール）、計10万株を超える圧倒的スケールでお客様をお迎えします。

秋の行楽シーズンにおける「絵になる絶景」として、ぜひご取材・ご紹介いただけますようお願い申し上げます。



※この花畑のイラストは、生成AIで作成した完成イメージであり、実際の状況と異なります。

本件の「4つの見どころ」

- 1.【今年初の挑戦】2つのデザインが共演する「新農地」
- 鮮烈な直線ストライプと、柔らかな曲線で描く「虹」が同じエリアで共演。これまでにない立体感と色彩のコントラストは、絶好のフォトスポット・空撮ポイントです。
- 2.【豊かなカラーバリエーション】
- 赤・白・黄・オレンジ・ピンク・パープル・ブルーなど、カメラフレームに収まりきれないほどの「天然のグラデーション」が広がります。
- 3.【スケールアップした秋の風景】計6,300㎡のコスモス畑
- 「ヨーロッパアンガーデン」と「四季の丘」の2つのロケーションに、それぞれ2,300㎡、4,000㎡の広大なコスモス畑が登場。風に揺れる秋の風物詩をダイナミックに体感していただけます。
- 4.いろいろの丘・新農地はわんちゃんのお散歩OK
- お花畑の見頃時期は、わんちゃんと一緒にお散歩ができますので、わんちゃんと一緒に思い出の一枚を残せます。

エリア別・植栽概要

- ① 新農地（面積：18,000㎡／株数：65,000株）
- 今年初の取組として、花の種類ごとに異なる視覚効果を狙った植付けを行います。
- ・直線的なストライプ模様エリア（計56,000株）
- 赤・白・青の鮮やかなサルビア、大輪のマリーゴールド、深いバーガンディーのケイトウが、大地に美しい絨毯のような直線を描きます。
- ・虹をイメージした湾曲エリア（計9,000株）
- 5色のマム（キク）を使用し、なだらかな丘に本物の虹がかかったような立体的な景観を演出します。

花の種類	株数	品種・カラー
サルビア	24,000株	ビクトリアホワイト、ビクトリアブルー、ボンファイヤー
マリーゴールド	24,000株	エンデュランス（オレンジ・イエロー）、ホワイトゴールド
ケイトウ	8,000株	ブライトスパークス（バーガンディー）
マム（キク）	9,000株	赤、白、黄、オレンジ、パープル
ジニア（百日草）	360,000株	赤、白、黄、オレンジ、ピンク

- ② いろいろの丘（面積：13,000㎡／株数：36,000株）
- ・マリーゴールド「パーフェクション」（オレンジ・イエロー）
- 一面をビタミンカラーで埋め尽くす圧巻のエリア。秋の澄んだ青空とのコントラストが美しく、SNS映え間違いなしの絶景が広がります。
- ③ ヨーロッパアンガーデン（面積：4,000㎡）& 四季の丘（面積：2,300㎡）
- ・コスモス
- 秋の風物詩であるコスモスが計6,300㎡の敷地に咲き誇ります。ドイツ風の建物と調和するヨーロッパアンガーデン、そして大自然を見渡す四季の丘、それぞれで表情の異なるノスタルジックな風景をお楽しみいただけます。
- ヨーロッパアンガーデン：（品種）ドワーフセンセーション（約400,000株）
- 四季の丘：（品種）レモンブライト（約300,000株）

開催概要・見頃時期

お花の見頃：10月中旬～11月中旬
※気象条件により前後する場合がございます。開花状況は随時お問い合わせください。
場所：東京ドイツ村（千葉県袖ケ浦市永吉419）
営業時間：9:30～17:00（最終入園 16:00）※季節により変動あり

【メディア関係者様へ】
現地取材・生中継：随時受け付けております。お天気中継、行楽特集など、御社番組・紙面（WEB）の企画に合わせて柔軟に対応・アテンドいたします。お気軽に広報担当までご連絡ください。